

シチズンシップ共育企画  
**2015 年度事業報告**



〒661-0965 兵庫県尼崎市次屋 1-2-20 ハイツアメニティ 2-203  
Tel 070-6506-0369 E-mail [info@active-citizen.jp](mailto:info@active-citizen.jp) URL <http://active-citizen.jp/>

2015.1.1～2015.12.31

**「じぶん」になる、「しみん」になる。**

アクティブな市民になれるために。民主的な対話を実感／実現するために。  
市民的リテラシーを獲得した民主主義の担い手が育つ社会の実現のために。

民主主義社会において、私たちは常に既にこの社会を構成している大切な一員として、社会の「当事者」として、社会に参画する「権利」を有しています。だからこそ、その権利が保障される場を創り出して、或いは創出された場を支えて、市民の影響力を拡大し、民主主義を強めていきたい、そのように私たちは希っています。

この希いを実現するためには、権利主体としての自覚を涵養しつつ、一人ひとりが自らには未来をつくりだす力が備えられているという自信を回復し、その力を活性化していくことが求められるでしょう。こうした市民が社会創造に参与するための「市民力」のエンパワメントがシチズンシップ共育企画の主たる目的です。

特に私たちは、多様な人々との共生社会を実現する人間関係を築く「コミュニケーション力」、粘りある議論から合意形成を生み出していく「熟議力」、自らの思い描く未来から現代を捉え直して、新たな問題を導き出したり、既に地域/社会で起こっている問題を見いだす「問題発見力」、その問題解決のためにリーダーシップを発揮する「マネジメント力」の涵養に力を注ぎます。同時に「市民力」のエンパワメントに取り組む教育者や支援者の「教育ファシリテーション力」の向上にも取り組みます。

シチズンシップ共育企画は、幅広い市民が社会づくりに参画し、共に生きる社会の実現を願って、以下の諸活動の企画・運営・支援・調査を行っていきます。

任意団体であるシチズンシップ共育企画は、代表者である川中大輔の個人事業として、昨年末に2015年度の会計年度末を迎えました。ここに概要をご報告いたします。

## 1. 15年度事業報告のハイライト

- (1) ユース ACT プログラム、大学生スタッフ中心の運営が安定化。
- (2) 教育ファシリテーター講座、「安心の場づくり」を掲げて実施。
- (3) 講師・ファシリテーター派遣（市民教育・協働まちづくり・NPO マネジメント）の件数は 103 件！
- (4) 18 歳選挙権の実現に伴う主権者教育への関心から、寄稿や取材が増。
- (5) 財務は収入も支出も増加し、結果としては少額の赤字決算に。

## 2. 15年度事業実施体制

当会では規約に基づき、総会の下に日常的な意思決定機関として運営委員会を設置し、年 2 回の合宿会議を中心におき、必要に応じた意見交換を年数回の会議を毎年開催しています。運営委員会ではフェローと共に、組織全体のビジョンや各種方針を立て、事業計画案／事業報告案の策定する他、各種事業の進捗状況共有、新規企画の実施承認等を行っています。2015 年度は年間を通じて 1 回の定例会議と 2 回のリトリート合宿会議を開催し、適宜メール回議にて意思決定を行いました。

執行体制としては、代表が各種事業の責任者となり、プロジェクトごとにボランティアスタッフを

募ってチームを編成し、事業推進に取り組んでいます。

〈メンバー一覧〉

- ・運営委員会 川中大輔（代表）、大本晋也、小林健司、東末真紀、三浦一郎  
神野有希、古田雄一、井出大地
- ・フェロー 湯浅雄偉、城木信浩、木村智子
- ・監事 長尾文雄
- ・インターン 林寛人（臨時職員兼任）（3月まで）、中村一樹（臨時職員兼任）（4月～10月）
- ・臨時職員 安井悠一郎（10月から）
- ・スタッフ 深谷啓介、元原悠貴、堀口真由（以上3名、3月まで）  
瀧本慎也、前田賢志、今村崇志、岩本清楓、依岡成美、石田大智、石田晴菜、  
堀越慶一郎、藤澤文徳、市川雄基、今村尚路、小林美穂

### 3. 15年度各事業報告

#### ■市民教育事業

##### (1)ユース ACT プログラム

（担当：石田大、石田晴、市川、今村崇、今村尚、岩本、瀧本、堀越、堀口、前田、依岡、川中、林、中村）

若者が「まちの跡取り」としての自覚や自信を形成するためには、自らが「まち」をつくる側にまわる経験をしつつ、「まち」の多様な人びととの交わりを得て支えられる中で、「まち」への愛着と信頼を育てていくプロセスが求められると考え、2008年度から京都地域において、高校生がまちづくり企画の立案・実施・評価に一貫して取り組む市民教育プログラムとして、「ユース ACT (Active Citizenship Training) プログラム」を実施しています（共催：公益財団法人京都市ユースサービス協会）。具体的には、参加高校生は第1段階として自らの問題意識を探り、問題解決に取り組むテーマを設定し、第2段階で、そのテーマに関係するNPOへのヒアリングやインターンシップ、フィールドワークを行った上で、第3段階で社会問題解決のプロジェクトを企画立案し、その実践に取り組むこととなります。

3月末には、昨年度より活動している高校生7名がその実践を通じた学びと成長を社会発信する「活動報告会 2014」（参加者18名）を2月28日に実施しました。

今年度は、京都地域の高校生8名が参加し、在日外国人の労働問題や国際的な医療保健活動への寄付キャンペーン、同世代の居場所づくりや読書活動推進などのテーマを掲げて、大学生サポーターと共に企画立案を進めています。10月25日には「中間報告会」（参加者22名）を開催するなど、地域のNPO等関係者からの支援も受けつつ、企画の実施に向けた活動に取り組んでいます。

また、類似の学びの構造を持つ、湘南まちいくプロジェクト「まちつくクラブ」、YEC（若者エンパワメント委員会）「もう一つの放課後探しプロジェクト」との経験交流も進めており、9月22日～23日にかけては三団体合同スタッフ合宿にも参加しました。今後も各地の実践者とのつながり、実践知の形成に努めてまいります。

\*本事業は、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会からご後援をいただいています。

▷URL : <http://active-citizen.jp/planning/act.html>

**(2)セルフカルチャープログラム** (担当：川中、安井)

当会では C.I. 『じぶん』になる、『しみん』になる。」からも明らかな通り、市民教育プログラムにおいて、市民公益活動の担い手としての成長を支援するだけでなく、同時に、一人ひとりが現代社会において自分らしく生きていけるような自己形成等の成長支援も必要だと考えています。そうした、自己の修養と尊重がなされなければ、滅私奉公的な市民教育に陥りかねません。

そこで具体的には、当会では以下の4つの視点のもと、「対話・仕事・生死」から自己と向き合い、見つめ直す機会となるワークショップを開発実施しています。

- ①自分に気づく（自分の気持ちや生きかたへの気づき）
- ②自分を表す（気持ちと考えの表現）
- ③自分を鍛える（世界観と学び続ける力の鍛錬）
- ④他者とともに生きる自分を育む（つながりへの気づきと共生の技法の修練）

今年度は、コスタリカで行われ、招聘いただいた「平和に対する多様なアプローチを考えるコロキウム」（於：国立ナショナル大学）の報告会を以下の通り、開催いたしました。

・10/25 「平和をつくりだす市民が育つ学びとは？」（共催：公益財団法人京都市ユースサービス協会）（参加者：17名）

また、「生と死の共育ワークショップ」vol.8 『お師匠さん』からの教えをどう生きるか？」（共催：青木将幸ファシリテーター事務所）を企画しましたが、最小催行人数に至らず、開催いたしませんでした。企画／広報の両面から改善点を明らかとし、来年度は実施に結びつくようにいたします。

▷実施報告：<https://www.facebook.com/pocco2003/>

**(3)講師・ファシリテーターの派遣** (担当：川中)

学校等の教育機関や自治体、NPO が取り組むシティズンシップ教育のプログラムや子ども・若者の社会参画推進の取組に講師・ファシリテーターを派遣しました。いくつかの事業では、企画運営から関与する教育協働に努めました。今年度は、1年間で18件の派遣を行いました。

(14年度21件←13年度4件←12年度5件←11年度12件←10年度3件←09年度4件)

- ・1/7 尼崎市教育委員会「社会力育成事業指定校発表会」講評
- ・2/7 コリア国際学園中等部・高等部「Liberal Arts 科」「リーダーシップ論」「リーダーとしてのものの捉え方と考え方」講師
- ・2/22 京都市役所「青少年モニター制度」ワークショップ「青少年のチカラを活かした社会づくり」ファシリテーター
- ・3/7-8 国立淡路青少年交流の家主催「ユースミーティング・ジブンを育てミライを創るボランティアとは」講師
- ・3/20 尼崎青年会議所主催「3月度例会」「社会を創造する『思い』を『カタチ』に」講師

- ・ 5/9 立命館宇治高等学校「キャリア・サービスラーニング (CSL)」「ボランティアとは？」講師
- ・ 5/15 同志社大学学生支援センター「春のボランティアフェア」入門講座「ボランティアとは何か？」講師
- ・ 6/6、尼崎市役所・尼崎青年会議所共催「あまらぶチャレンジ事業 (ジュニアコース)」のワークショップ「地域をよくする企画はどうつくるのか？」の講師
- ・ 7/19 わかものまち・焼津実行委員会主催「わかものまち・焼津フォーラム」「若者の思いがカタチになる地域へ」講師
- ・ 7/25-26、尼崎市役所・尼崎青年会議所共催「あまらぶチャレンジ事業 (ジュニアコース)」「未来をつくる企画に磨きをかける合宿研修」講師
- ・ 8/6-7 尼崎市教育委員会「社会力育成事業夏季生徒会研修」講師
- ・ 8/31-9/1 コスタリカ国立ナショナル大学ラテンアメリカ研究所・国連平和大学・国際交流基金主催「平和に対する多様なアプローチを考えるコロキウム『Eyes on Peace』」パネリスト
- ・ 10/3 沖縄地域社会ビジョン大学院「市民性教育論」講師
- ・ 11/5 灘中学校「社会科 (1 年)」「21 世紀の学びとは？(1)グループで学ぶ」ゲスト講師
- ・ 11/12 灘中学校「社会科 (1 年)」「21 世紀の学びとは？(2)自ら問いを立てる」ゲスト講師
- ・ 11/18 京都市「青少年モニター制度」ワークショップ「『京都市ユースアクションプラン』の見直しを提案する」ファシリテーター
- ・ 11/16-17 島根県教育庁「平成 27 年度第 1 回島根県高校魅力化研修会」講師
- ・ 12/10 NPO 法人森の生活主催「サービスラーニング研修」講師

▷実施報告：<https://www.facebook.com/pocco2003/>

また、大学や高校等の学校教育機関において、シティズンシップ教育の視点を踏まえた授業を展開するため、以下の大学等 8 校において非常勤講師として講義科目を担当しました。

#### 〈春学期〉

- ・ 立命館大学政策科学部「社会的企業論」
- ・ 甲南大学共通教育センター「ボランティア論」
- ・ 甲南女子大学文学部「社会起業論Ⅰ」
- ・ 国立明石工業高等専門学校「アクティブラーニングⅠ」

#### 〈秋学期〉

- ・ 甲南女子大学文学部「社会起業論Ⅱ」
- ・ 神戸国際大学経済学部「市民参加論」
- ・ 大阪樟蔭女子大学大学院人間科学研究科「ボランティア活動論」

#### 〈通年〉

- ・ 兵庫県立御影高等学校「GS 人文地理」

#### (4)日本シティズンシップ教育フォーラム事務局事業

(担当：川中、古田、神野、湯浅、林、中村、安井)

シティズンシップ教育の関係者が立場を越えてネットワーキングし、ナレッジの共有やグッドプラクティスの掘り起こし、一層の進展に向けたムーブメントの形成を図るため 2013 年に発足いたしました「日本シティズンシップ教育フォーラム (J-CEF)」の事務局を当会が担っています。J-CEF の総会・運営委員会での決定に基づいた執行を支えており、その活動内容につきましては、以下ウェブサイトをご覧ください。今年度から年間を通じた活動が展開されており、次年度以降に弾みをつけることとなりました。

▷URL：<http://jcef.jp/>

### ■ファシリテーター養成事業

#### (1)教育ファシリテーター講座 (担当：川中、大本、東末)

学校教育や社会教育において、参加型学習の導入が一般化し、広がっていています。各種講座や専門書籍の充実など、ファシリテーションの技法を学ぶ機会も飛躍的に増大し、この動きを支えています。当会でも 2006 年度より「教育ファシリテーター講座」を実施し、ファシリテーションの技法の基盤となる力を修練できる機会を提供しています。

参加型学習が機能するためには、その場の基盤に「安心の風土」が求められますが、思いきったチャレンジを可能にする安心を生み出す「関わり」を磨くことに今年度は目を向け、以下の内容で実施しました。

・7/4-5 「教育ファシリテーター講座 2015」、「『安心の場』はどう生まれるのか？」

(ゲスト：伊勢達郎さん、ファシリテーター：川中大輔、大本晋也、東末真紀) (参加者：★名)

参加型学習の場において、学び手は「参加型の文化」を体得することになり、また、自分の頭で考え、活動と学習を統合していく力を習得することになります。そうした参加型学習の展開と定着、深化を期待し、そのために何が求められているのかを検討した上で、次年度も継続実施していきます。

▷実施報告：[http://active-citizen.jp/report\\_20150704/](http://active-citizen.jp/report_20150704/)

### ■協働推進事業

#### (1)神戸市協働と参画のプラットフォーム受託事業 (担当：川中)

2007 年度より神戸市民参画推進局から受託している「協働と参画のプラットフォーム」における「協働コーディネート業務」につき、今年度は継続エントリーせず、3 月をもって契約を終了しました。この間、協働まちづくりの推進として、特に当会が力点を入れてきたのは、地域協働、ソーシャルビジネス推進、NPO 支援、寄付活動推進といった各種テーマでの円卓会議方式で政策を形成し、実行／評価／改善に取り組む「深い協働」の実現でした。退任にあたっては、こうした過年度までの蓄積を新任者に継承し、円滑な交代を目指しました。

▷URL：<http://kobe24.jp/>

## (2)講師派遣プログラム (担当：川中)

「協働と参画のまちづくり」に係る行政職員研修や、まちづくりワークショップへ講師・ファシリテーターを派遣し、地域問題解決のためにステークホルダーがネットワーキングし、共にその実践にあたる協働型社会の実現支援に取り組みます。今年度は、1年間で23件の派遣を行いました。

(14年度 20件←13年度 14件←12年度 20件←11年度 16件←10年度 27件←09年度 15件)

- ・ 1/23 中津川市役所「市民協働指針策定委員会」「第4回会議」ファシリテーター
- ・ 2/9 神戸市北区連合自治協議会「情報交換会」「クロスロードによる地域問題の解決」講師
- ・ 2/14 広尾町主催「ひろお未来塾」「まちづくり企画発表会」講評
- ・ 2/23 中津川市役所「市民協働指針策定委員会」「第5回会議」ファシリテーター
- ・ 2/24 明石市役所「協働のまちづくり研修」「現場から学ぶ協働のツボ」講師
- ・ 2/25 奈良市役所「まちづくりファシリテーター研修」講師
- ・ 3/4 奈良市役所「まちづくりファシリテーター研修」講師
- ・ 3/11 中津川市役所「市民協働指針策定委員会」「第6回会議」ファシリテーター
- ・ 6/5 神戸市役所「まちづくり関係職員研修(ベーシックプログラム)」「地域の人との信頼関係のつくりかた」講師
- ・ 7/3 川西市役所「参画と協働のまちづくり研修」「基礎編」講師
- ・ 8/25 中津川市「市民協働指針策定委員会」「第8回会議」ファシリテーター
- ・ 9/15 神戸市役所「まちづくり関係職員研修」「ケーススタディープログラム(実践から学ぶ協働と参画のまちづくり)」講師
- ・ 9/24 中津川市「市民協働指針策定委員会」「第9回会議」ファシリテーター
- ・ 10/22 神戸市役所「まちづくり関係職員研修」ステップアッププログラム「信頼関係を築くためのスキル(話し方編)」講師
- ・ 11/13 宝塚NPOセンター主催「まちを知る・まちに関わる講座(2)」講師
- ・ 11/15 尼崎市役所「市制100周年記念事業」「みんなでツクル!事業『みんなで議論』(1)」ファシリテーター
- ・ 11/20 宝塚NPOセンター主催「まちを知る・まちに関わる講座(3)」講師
- ・ 11/26 明石市役所「協働のまちづくり職員研修」講師
- ・ 11/27 宝塚NPOセンター主催「まちを知る・まちに関わる講座(4)」講師
- ・ 12/12 「第3回公害資料館連携フォーラム in 四日市」第4分科会「マネージメント」「協働がうまれる会議をどうつくるか?」ファシリテーター(担当委員)
- ・ 12/16 川西市役所「参画と協働のまちづくり研修」「総括編」講師
- ・ 12/18 中津川市役所「政策研修」「協働のまちづくり」講師
- ・ 12/19 尼崎市役所「市制100周年記念事業」「みんなでツクル!事業『みんなで議論』(2)」ファシリテーター

## ■NPO 支援事業

### (1)講師派遣プログラム (担当：川中)

「市民としての行動力」が社会において具体的に発揮されるためには、思いをカタチにしていくマネジメントスキルが必要不可欠となります。そこで、当会代表の川中は当会設立以前の2001年よりNPO マネジメント講座の講師依頼を積極的に引き受け、当会が設立された2003年度以降、全国各地で講座を担当しています。今年度は、1年間で62件の講座へ講師派遣を行いました。下表はご依頼いただいた仕事をテーマ別で分類したものです。

テーマ	件数 (14←13←12←11←10年度)	テーマ	件数 (14←13←12←11←10年度)
マネジメント全般	14 (4←6←9←7←7)	会議、ファシリテーション	15 (20←17←17←10←9)
企画、事業計画	2 (4←4←7←10←7)	広報、プレゼンテーション	0 (1←3←3←0←4)
ボランティアマネジメント、 人材育成	11 (3←2←7←4←1)	リーダーシップ、 コミュニケーション	12 (11←10←11←16←5)
評価、ふりかえり	1 (2←6←4←5←3)	ビジョン、理事会運営	0 (8←5←3←0←3)
政策提言	0 (0←0←0←0←4)	中間支援	1 (0←1←0←1←1)
キャリアデザイン	4 (2←2←4←7←6)	その他	2 (2←4←5←4←4)

16年度も、従来からの講座プログラムの充実化に加え、近年の増加ニーズに適切に応えられるよう、プログラムの開発を図り、依頼件数の増加を目指します。

- ・1/15 追手門学院大学「表現コミュニケーション」「新入生の大学入門を支援する(2)」ゲスト講師
- ・1/17 環境再生機構地球環境基金部主催(運営：ねおす、運営協力：北海道市民環境ネットワーク、ezorock)「環境NGO・NPOレベルアップ実践研修(北海道ブロック)・ボランティアマネジメント講座」「フォローアップ研修(札幌会場)」講師
- ・1/18 環境再生機構地球環境基金部主催(運営：ねおす、運営協力：北海道市民環境ネットワーク、ezorock)「環境NGO・NPOレベルアップ実践研修(北海道ブロック)・ボランティアマネジメント講座」「フォローアップ研修(東川会場)」講師
- ・1/21 環境再生機構地球環境基金部主催(運営：「環境・持続社会」研究センター)「環境NGO・NPOレベルアップ実践研修」「広報・資金調達のマニュアルと組織・プロジェクトの行動計画をつくろう!」「フォローアップ講座(滋賀会場)」講師
- ・1/22 環境再生機構地球環境基金部主催(運営：「環境・持続社会」研究センター)「環境NGO・NPOレベルアップ実践研修」「広報・資金調達のマニュアルと組織・プロジェクトの行動計画をつくろう!」「フォローアップ講座(大阪会場)」講師
- ・1/25 ひょうごNPOユースの新春企画「2015年 自分自身のテーマは何か!？」ファシリテーター



- ・ 1/29 北播磨市民活動支援センター主催「NPO・市民活動団体のための想いを引き継ぐ人材育成講座」講師
- ・ 2/1 浦安市市民活動センター主催「団体応援ファシリテーション講座『いつもの会議がガラリと変わる!』」講師
- ・ 2/10 石巻復興支援ネットワーク主催「中高大生のためのアサーティブトレーニング」講師
- ・ 2/12 立命館大学生命科学部・薬学部オリター団「ファシリテーション研修」講師
- ・ 2/13 神戸市障害者支援課主催「相談支援機能強化研修」「ワールドカフェ方式を学ぶ研修会」講師
- ・ 2/20-21 同志社大学学生支援センター「リーダーズキャンプ」講師
- ・ 2/28 社会福祉法人・学校法人イエス団「職員ブラッシュアップ研修」「フォローアップセッション」講師
- ・ 3/3 同志社大学学生支援センター「地域連携スタッフ ARCO 研修」「チームビルディング」講師
- ・ 3/15 NPO 法人 GGP ジェンダー・地球市民企画主催「NPO のジレンマ」ファシリテーター
- ・ 3/23-24 社会福祉法人・学校法人イエス団「新任職員研修会」講師
- ・ 3/25 三重県社会福祉協議会三重県ボランティアセンター主催「福祉教育推進セミナー」「ふりかえりを学ぶ」講師
- ・ 3/26-27 愛隣館研修センター「年度末研修」「2014 年度の目標を評価して、2015 年度の目標をつくろう!」ファシリテーター
- ・ 4/6-7/13 追手門学院大学「表現コミュニケーション (全 15 回)」ゲスト講師
- ・ 4/18 環境再生機構地球環境基金部主催 (運営:「環境・持続社会」研究センター)「環境 NGO・NPO レベルアップ実践研修」「広報・資金調達のマニュアルと組織・プロジェクトの行動計画をつくろう!」「ミッション達成・環境問題解決に向けた NGO リーダーシップ」(大阪会場) 講師
- ・ 4/19 環境再生機構地球環境基金部主催 (運営:「環境・持続社会」研究センター)「環境 NGO・NPO レベルアップ実践研修」「広報・資金調達のマニュアルと組織・プロジェクトの行動計画をつくろう!」「ミッション達成・環境問題解決に向けた NGO リーダーシップ」(滋賀会場) 講師
- ・ 4/25 環境再生機構地球環境基金部主催 (運営:ねおす、運営協力:北海道市民環境ネットワーク、ezorock)「環境 NGO・NPO レベルアップ実践研修 (北海道ブロック)・ボランティアアマネジメント講座 (石狩会場)」講師
- ・ 4/26 環境再生機構地球環境基金部主催 (運営:ねおす、運営協力:北海道市民環境ネットワーク、ezorock)「環境 NGO・NPO レベルアップ実践研修 (北海道ブロック)・ボランティアアマネジメント講座 (旭川会場)」講師
- ・ 5/21 立命館大学サービスラーニングセンター(OIC)「学生コーディネーター勉強会」「ファシ

リレーション研修」講師

- ・5/23 同志社大学学生支援センター「学生スタッフ研修」「対人援助技術基礎研修」講師
- ・6/12-13 社会福祉法人・学校法人イエス団「ブラッシュアップ職員研修会」講師
- ・6/26 公益財団法人コープともしびボランティア振興財団の調査研究助成報告会「地域をつなぐボランティアコーディネート」コーディネーター
- ・7/11 環境再生機構地球環境基金部主催（運営：「環境・持続社会」研究センター）「環境 NGO・NPO レベルアップ実践研修」「広報・資金調達のマニュアルと組織・プロジェクトの行動計画をつくろう！」「フォローアップ講座（大阪会場）」アドバイザー
- ・7/12 環境再生機構地球環境基金部主催（運営：「環境・持続社会」研究センター）「環境 NGO・NPO レベルアップ実践研修」「広報・資金調達のマニュアルと組織・プロジェクトの行動計画をつくろう！」「フォローアップ講座（滋賀会場）」アドバイザー
- ・7/17 神戸市障害者支援課「平成 27 年度相談支援機能強化研修」「ファシリテーション研修（基礎編）」講師
- ・7/18 社会福祉法人・学校法人イエス団「リーダーシップ養成研修ステップ II」「問題解決能力の育成（2）」講師
- ・7/31 生涯学習サポート兵庫、シミズシーズ、ひと・まち・アート、BAN-BAN ネットワークス「ファシリテーション研修」ファシリテーター
- ・8/8 兵庫大学主催「大学と地域との連携推進懇談会」「ワークショップ」統括ファシリテーター
- ・8/22 静岡市主催（事業パートナー：男女共同参画フォーラムしずおか）「地域デザインカレッジ 2015」コミュニティーコース「聴く力と観る力をつけるワークショップ」講師
- ・8/22 静岡市主催（事業パートナー：男女共同参画フォーラムしずおか）「地域デザインカレッジ 2015」プロジェクトコース「ファシリテーション」講師
- ・8/23 学生団体活性化委員会 DD 主催「効果的な会議をデザインする」講師
- ・8/27-28 社会福祉法人・学校法人イエス団「施設長研修」講師
- ・8/29 奈良市ボランティアインフォメーションセンター主催「NPO マネジメント実践講座（第 1 回）」講師
- ・9/7 関西大学ボランティアセンター「学生スタッフ養成合宿」「チームワークを円滑化するコミュニケーション」講師
- ・9/13 奈良市ボランティアインフォメーションセンター主催「NPO マネジメント実践講座（第 2 回）」講師
- ・9/14 神戸市障害者支援課「平成 27 年度相談支援機能強化研修」「ファシリテーション研修（実践編）」講師
- ・9/26 奈良市ボランティアインフォメーションセンター主催「NPO マネジメント実践講座（第 3 回）」講師
- ・9/30 環境再生機構地球環境基金部主催（運営：ねおす、運営協力：ezorock）「環境 NGO・

- NPO レベルアップ実践研修（北海道ブロック）・ボランティアマネジメント講座」「応用研修（東川会場）」講師
- ・10/1 環境再生機構地球環境基金部主催（運営：ねおす、運営協力：ezorock）「環境 NGO・NPO レベルアップ実践研修（北海道ブロック）・ボランティアマネジメント講座」「応用研修（札幌会場）」講師
  - ・10/2 NPO 法人まちなか研究所わくわく主催「ファシリテーションを実践につなげる“1スキル深堀り”講座」「現場で使える、議論を深める『問いかけ』」の講師
  - ・10/15-17 社会福祉法人・学校法人イエス団「リーダーシップ養成研修会ステップ1」講師
  - ・10/18 京エコロジーセンター主催「平成27年度『環境ボランティアの育成・支援』事業ステップアップ研修」「企画を立ててみよう」講師
  - ・10/23 EN Lab.主催「EN college vol.1『子どもと関わるファシリテーターのあり方』」講師
  - ・10/28 環境再生機構地球環境基金部主催（運営：「環境・持続社会」研究センター）「環境 NGO・NPO レベルアップ実践研修」「協働・資金調達・広報実践ツールと短中長期戦略をつくらう！（応用研修）」「フォローアップ講座-実践結果の共有と今後に向けたブラッシュアップ（大阪会場）」講師
  - ・10/30 環境再生機構地球環境基金部主催（運営：「環境・持続社会」研究センター）「環境 NGO・NPO レベルアップ実践研修」「協働・資金調達・広報実践ツールと短中長期戦略をつくらう！（応用研修）」「フォローアップ講座-実践結果の共有と今後に向けたブラッシュアップ（滋賀会場）」講師
  - ・10/29 社会福祉法人・学校法人イエス団「施設長研修」「事後研修」講師
  - ・11/11 ひょうご中間支援団体ネットワーク「拡大意見交換会」「兵庫のボランタリーセクターを支える『これからの中間支援のあり方』」ファシリテーター
  - ・11/21 社会福祉法人・学校法人イエス団「リーダーシップ養成研修会ステップ2」「問題解決能力の育成」講師
  - ・11/28 社会福祉法人・学校法人イエス団「職員ブラッシュアップ研修」「フォローアップセッション」講師
  - ・11/29 NPO 法人市民サポートセンター明石主催『「希望塾」のための学習サポーター養成講座』「行動する市民を育てる」講師
  - ・12/3 関西大学ボランティアセンター主催「活動引き継ぎ講座～想いの伝え方、受け取り方～」講師
  - ・12/7 保育グループ「マザーグース」「リーダー養成講座」「子どもとの関わりを学ぶ」講師
  - ・12/9 環境再生機構地球環境基金部主催（運営：ねおす、運営協力：ezorock）「環境 NGO・NPO レベルアップ実践研修（北海道ブロック）・ボランティアマネジメント講座」「応用研修（札幌会場）」講師
  - ・12/10 環境再生機構地球環境基金部主催（運営：ねおす、運営協力：ezorock）「環境 NGO・

NPO レベルアップ実践研修（北海道ブロック）・ボランティアマネジメント講座」「応用研修（東川会場）」講師

- ・12/11 伊賀市役所「女性リーダー養成連続講座（クローバーカレッジ）」「第6回ワークショップ：私たちの伊賀市」講師
- ・12/20 さわやか福祉財団「さわやか近畿ブロック研修」「ファシリテーション研修」講師
- ・12/21 保育グループ「マザーグース」「リーダー養成講座」「グループとの関わりを学ぶ」講師

▷実施報告：<https://www.facebook.com/pocco2003/>

## (2)外部委員（担当：川中）

NPOの支援活動として、研修・講座のみならず、以下の機関の外部委員として助言指導や政策形成参画等を行いました。

- ・日本シティズンシップ教育フォーラム（J-CEF）運営委員・事務局長
- ・NPO法人BrainHumanityフェロー
- ・NPO法人まちなか研究所わくわく理事
- ・NPO法人神戸まちづくり研究所理事
- ・NPO法人ワカモノヂカラプロジェクト理事
- ・(公財)京都市ユースサービス協会企画委員会委員
- ・(公財)ひょうごコミュニティ財団理事
- ・(公財)コープともしびボランティア振興財団運営委員会委員（助成検討委員兼務）
- ・(公社)日本フィランソロピー協会「子ども、高齢者、障害者が相補的に関わることのできる地域共生型社会づくりを促進する活動」推進委員会委員
- ・(一財)大阪府男女共同参画推進財団理事
- ・京都市青少年活動推進協議会委員
- ・公害資料館ネットワーク世話人（公害資料館連携フォーラム運営委員兼務）
- ・尼崎市事務事業点検委員会委員（3月まで）
- ・NPO法人CAPセンター・JAPANネクストステージ委員会委員（3月まで）

## ■メディア発信

シティズンシップ教育や協働まちづくり、NPOマネジメントに関して、原稿執筆や取材対応等を通じたメディア発信を行っています。今年度の実績は以下の通りです。

〈寄稿〉

- ・「社会の中で展開されるシティズンシップ教育」、日本シティズンシップ教育フォーラム編（唐木清志・岡田泰孝・杉浦真理・川中大輔監修）『シティズンシップ教育で創る学校の未来』東洋館出版社、pp.32-39

- ・「若者が政治への信頼を育む機会はどれだけあるのか?」、『ユースサービス』vol.22（特集：若者の政治参加を考える）、京都市ユースサービス協会、p.6
- ・「問題の構造、自分との関係を省察」、日本教育新聞「考える市民を育てる(7)」2015年9月28日号
- ・「具体的な行動につながる解決策探る」、日本教育新聞「考える市民を育てる(8)」2015年10月5日号
- ・「多様な人と交わり思考深める」、日本教育新聞「考える市民を育てる(9)」2015年10月12日号
- ・「若者の思いがカタチになる地域へ（講演録）」、わかもののみち・静岡ウェブサイト  
(<https://wakashizu.wordpress.com/2015/11/24/>【講演録】-若者の思いがカタチになる地域へ-川中/)

〈取材記事掲載〉

- ・神戸新聞 2015年3月31日朝刊、「『創生』の現場で」「市民力」
- ・神戸新聞 2015年4月26日朝刊、「編集委員インタビュー」「『より良い社会』の実現に向け個人の参加促すには？」
- ・月刊『地方自治職員研修』2015年12月号（通巻681号）「この人に訊く」「市民は弱い。だから市民は『共に』社会を変える」（公職研刊行）、pp.1-5

#### 4. 15年度決算のトピックス

##### ■収入の部

##### (1)講師派遣料収入は増加

当会の事業収入を支える講師派遣料については、前年比約50万円増となり、2年連続の増加を実現しましたが、中期的な変動では増減を繰り返しており、決して安定した傾向とは言えません。アクティブラーニングへの関心の高まりもあって、学校機関を中心にファシリテーションに関する研修や大学等での授業も増える傾向にあります。教育ファシリテーター講座等での蓄積の整理活用をしながら、新たなニーズに対応できるよう、研鑽に努めていく必要があります。また、NPOマネジメント支援では、成果重視志向の高まりから昨年度に引き続き、継続して組織運営の問題解決を支援する研修が増えており、参加者が自らの手で実効性／実行性の高い学びを導きだせるためのプログラム提供が求められています。当会の専門性を活かす形で、実践者の事業を支え、安定的な依頼につなげていくようにいたします。

##### (2)主催事業収入は微減

主催事業については、前年比約10万円減となっています。これは主催事業の不催行によるものであり、次年度は企画した全事業の実施と定員充足の実現と新規事業展開を通じて、主催事業での利益確保を目指していきます。

### (3)委託事業収入は大幅減

委託事業収入については、前年比約 110 万円減となっています。2011 年度から段階的に計画的に委託事業収入を減少させており、今年度は神戸市からの協働コーディネート業務も完全に終了を迎えることとなり、こうした結果となっています。当会はリソースの適正配分の観点から事業収入に占める委託事業収入の割合を 30%以下であることを目標にしていますが、今年度は 3.1%(前年度 15.9%)と大幅に下回りました。委託事業収入については上記基準値を意識し、存在感を高めないように留意しつつも、行政との協働の社会的意義に鑑み、必要に応じた受託も進めます。

#### ■支出の部

今年度の管理費支出においては、全体として約 10 万円の微増であるものの、「給料手当（前年比約 90 万円増）」は大幅に増加しています。反面、「旅費交通費（前年比約 44 万円減）」「新聞図書費（前年比約 20 万円減）」「諸会費・寄付金（前年比約 15 万円減）」では支出を抑制し経費削減が進みました。

事業支出としては、全体として約 65 万円の大幅増加が見られ、「旅費交通費(前年比約 74 万円増)」の支出増が大きく影響しています。「施設使用料(前年比約 6 万円増)」「通信費(前年比約 6 万円増)」では微増傾向が見られます。これらの傾向が続かないよう、支出精査に努める必要があります。J-CEF の会員増に伴い、「事業負担金（前年比 23 万円減）」では大きな減額を実現しました。

収入額で大幅な増加傾向が見られない中、給与手当の見直しの他、消耗品費での不要不急の支出を抑制していき、支出全体の削減を目指します。

#### ■全体を踏まえて

今年度は当期差益で約 35 万円の赤字を生み出し、繰越金を約 1000 万円に減じてしまいました。当会では、有事の際に持ちこたえられる財務体力として内部留保 1000 万円を目標額（最低維持ライン 500 万円）としています。そのため、三期連続の赤字とならないよう、次年度は主催事業収入増加と管理費経費削減によって黒字回復を実現し、規律ある財務運営を継続するよういたします。

#### おわりに

2015 年度、当会関わったプログラムは 116 件（前年比 9 件増）となりました。件数としては、ほぼ横ばいで、今年度も量的には一定規模を維持することができました。非常に多くの方々に支えられていることを覚え、この場をお借りして御礼申し上げます。しかし、最も件数が大きかった年度に比べれば、まだ事業遂行力に余地があり、一層の充実を目指していく必要があります。

今年度は 18 歳選挙権の実現に伴って、主権者教育／シティズンシップ教育への関心が急速に高まる一年でした。その潮流の中にあって、当会は若者の視点から「政治参加」を捉えた上で、若者に内在している意欲が触発されて力が発揮される機会を設け、若者の影響力を高めていくことを目指していくことを確認しました。次年度には、その具体化として「ユース VOICE プログラム」の実現に取

り組みます。ただし、政治参加と社会参加は分けて考えるべきものではなく、2つの市民的関与の一体化を志向し、ユース ACT プログラムとユース VOICE プログラムは相互に影響しあうものとして設計していくこととします。

また、日本シティズンシップ教育フォーラム（J-CEF）の運営を今後も継続して支え、垣根を越えた経験交流と学習交換の場として整えていき、ナショナルなレベルで意味ある実践の流通を促すようにも努めていきます。

公正な社会に向けての民主的変革の実現にあたって、シティズンシップ教育が重要な役割を担うと当会は考えています。創造的市民社会の成熟と発展に向けて、私たちに課せられているその社会的責任を自覚し、その責任に応答していけるよう、今後もスタッフ一同邁進してまいります。引き続き、関係各位の多大なるご協力とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

シティズンシップ共育企画

代表 川中 大輔